

~ XMLコンソーシアムDay ~

## セキュリティ部会活動紹介

2007年12月07日

XMLコンソーシアム セキュリティ部会

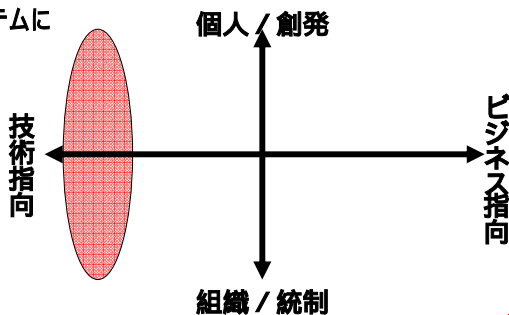
松永 豊 (TELデバイス)



## XMLコンソーシアム セキュリティ部会



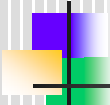
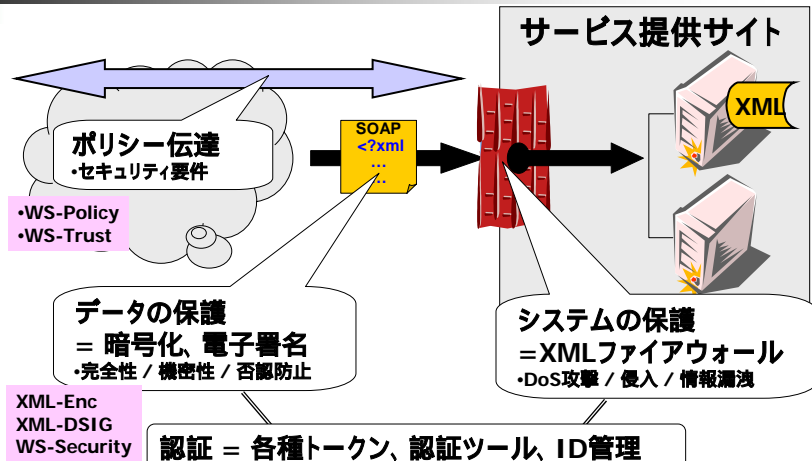
- XMLに関連するセキュリティ技術の調査・研究・資料作成・実験
- 2つの切り口
  1. XMLを使ったシステムに対するセキュリティ
  2. XMLを利用したセキュリティ技術 (データ保護、改竄防止、認証、etc.)





# XMLのセキュリティ

XML Consortium



# 部会の目的と活動方法

XML Consortium

- 目的: XMLセキュリティ技術のビジネスシステムへの適用
  - 勉強会
    - セキュリティ技術の調査、解説
    - 開発ツール、ミドルウェア等の調査および比較検討
  - 翻訳
    - 標準仕様や附帯文書を翻訳、公開
  - 応用: アプリケーションモデルの検討
    - ビジネス適用事例の調査、収集
    - システムモデルの構築
    - 試作による技術検証
  - 活動成果物の公開
    - 技術資料、解説書、翻訳文書
    - セミナー講演



# 2007年度の活動テーマ



	勉強会	応用	翻訳
WSS			WSS1.0:完了
WS-Policy			WS-SP1.2
DSS			DSS1.0
内部統制			
ID連携			
Web 2.0			
技術マップ			

三者間Webサービスにおける暗号化とポリシー制御

ITシステムによる内部統制支援

WebOSの一元認証 (aPlat)

技術文書翻訳

## 活動テーマの概要



- 三者間Webサービスにおける暗号化とポリシー制御
  - sPlatプロジェクトの活動成果に基づき、Webサービスにおけるメッセージ暗号化とポリシー伝達にもなる問題点の解決方法の探求とその実装に向けて取り組む
- ITシステムにおける内部統制支援
  - オフィス文書や電子証憑に対する電子署名サービスについて、アプリケーションモデル化に取り組む
- WebOSの一元認証 (aPlat)
  - 複数のWebOSやWebOS外部のシステムにむけたID連携の仕組みとその実装に向けて取り組む
  - Webサービス実証部会との連携して活動
- 技術文書の翻訳
  - 標準規格の日本語訳を作成することで、より柔軟で価値の高いシステム構築の一助となりたい
  - 難解なセキュリティ技術に接する多くの人々にとって、日本語に翻訳された技術文書の存在は重要
  - 翻訳を通じて仕様書の隅々まで読み解くことにより、標準規格に対する理解が向上

メンバーからの希望、提案に基づいて活動しています  
「やりたいことをやるう！」



## これまでの活動実績(1)

- 2001年度
  - 基盤技術部会 共通基盤WG セキュリティWG
    - 図解XML(セキュリティ編)
    - ケーススタディを通じた、セキュリティ関連XML規格の調査、解説
    - Webサービス技術解説書への参画
  - 応用技術部会 セキュリティWG
    - XKMSサーバ/クライアントとXML-DSIG電子署名システムの開発
- 2002～2003年度 応用技術部会 セキュリティWG
  - セキュリティ関連XML規格の調査、解説
  - XKMS、XML-DSIG、XML Encryptionを用いた旅行発注システムの構築
  - SAMLオーソリテイ、SAMLリクエストの実装と、SSOシステムの構築
  - XML-DSIG、XML Encryption、SAMLを用いた電子委任状システム
- 2004年度～ セキュリティ部会



## これまでの活動実績(2)

- 2004年度
  - 標準規格文書の翻訳、公開 – WS-Security
    - OASIS Web Services Security: SOAP Message Security 1.0 (WS-Security 2004) 日本語訳
      - <http://www.xmlconsortium.org/wg/sec/wss.html>
  - 標準規格及び関連技術の調査、解説
    - WSS 1.0、SAML 2.0
    - セキュリティ関連XML標準技術規格マップ
  - 開発ツール、ミドルウェア等の調査、比較
    - WS-Security 2004の対応状況
- 2005年度
  - 標準規格文書の翻訳、公開 – WS-Security関連仕様
    - OASIS Web Services Security 1.0: SOAP Message Security 1.0 (WS-Security 2004) Errata 1.0 日本語訳
    - OASIS Web Services Security 1.0: Username Token Profile 1.0 日本語訳
    - OASIS Web Services Security 1.0: Username Token Profile 1.0 Errata 1.0 日本語訳
    - OASIS Web Services Security 1.0: X.509 Certificate Token Profile 1.0 日本語訳
    - OASIS Web Services Security 1.0: SAML Token Profile 1.0 日本語訳





## これまでの活動実績(3)

- 2005年度(続き)
  - 標準規格及び関連技術の調査、解説
    - WSS 1.0、XACML 2.0、WS-Policy、WS-SecurityPolicy、WS-Trustなど
    - OASIS WSS TC、WS-SX TC等における標準化動向
    - Webサービスのベストプラクティス、セキュリティ関連XML標準技術規格マップ
  - sPlat プロジェクトの開始
    - Webサービスにおける暗号化XMLデータの取り扱いに伴なう、妥当性検証やデータバインディングにおける問題点とその対策についての検討
      - <http://www.xmlconsortium.org/release/pdf/px060406-security-project-final2.pdf>
    - Webサービス実証部会との合同プロジェクト



## これまでの活動実績(4)

- 2006年度
  - 標準規格の調査、勉強会
    - WS-Policy、WS-SecurityPolicy
    - Digital Signature Services (DSS)
    - SAML 2.0
    - MPEG21
  - 実システムへの適用に向けた検討
    - DSSを用いたアプリケーション試作に向けての検討
    - オフィス文書と電子署名サービス
  - sPlatプロジェクト
    - 前年度より継続して活動 ひとまず完了
    - 暗号化XMLデータ利用技術
    - WSITを使った3者間のポリシー伝達



## これまでの活動実績(5)

- 2007年度
  - 標準規格の調査、勉強会
    - OpenID、Windows CardSpace
    - 今後のテーマ候補: DSS、XAdES
  - 製造情報連携フォーラム
    - 製造業IT関連団体のグループ
    - システムコントロールフェア (SCF) 2007においてシステム連携デモ
    - セキュリティ部からは、セキュリティ検討と報告を実施  
<http://www.xmlconsortium.org/> 「公開資料」のところに
  - aPlatプロジェクト
    - Webサービス実証部会との合同活動
    - WebOSの一元認証を検討



## 12月のセキュリティ部会

- 第5回セキュリティ部会
  - 2007年12月14日(金) 16:00-18:00
  - 新宿・TELデバイス新宿オフィス
  - 予定内容:  
XMLセキュリティアライアンス勉強会
    - IBM DataPower
    - Cisco Application-Oriented Networking
    - その他
  - お問い合わせ:  
[matsunaga.y@teldevice.co.jp](mailto:matsunaga.y@teldevice.co.jp)

